琉球大学学術リポジトリ

[記事]研究会ニュース第11回南方資源利用技術研究会総会

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017283

研究会ニュース

第11会　南方資源利用技術研究会総会

第11回総会は，平成3年7月13日（土）14時より琉球大学農学部において約80名の参加者をもって開催された．当山会長のあいさつの後，村山盛一氏（琉球大学農学部・教授）を議長に選出し議事に入った．平成2年度事業報告，同会計報告・監査報告が承認された後，平成3年度事業計画，同予算が原案通り可決された．平成3年度は，創立10周年記念事業（記念シンポジウム）の開催に事業の主力が注がれることになった．

1．第10回　総会次第

開会の挨拶
議長選出
議　事
　平成2年度事業報告
　平成2年度会計報告
　平成2年度会計監査報告
　平成3年度事業計画案
　平成3年度予算案
　その他
閉会の挨拶

2．平成2年度事業報告

a）第10回総会の開催（H2．7．14：琉球大学農学部）
b）第7回研究発表会の開催（H2．12．1：琉球大学農学部）
c）研究会誌第7巻第1号の発行
d）特別講演会の開催（4テーマ）
　＊　サンゴ礁生物の生理活性物質
　　琉球大学理学部　教授　比嘉　辰雄　氏
　＊　第3次振計と県内企業の課題
　　社団法人　沖縄県経営者協会　副会長
　　専務理事　　宮城　豊　氏
　＊　琉球の植物成分
　　琉球大学教養部　教授　森　巌　氏
　＊　第3次沖縄振興開発計画の策定に向けて
　　沖縄県企画開発部　課長　赤嶺　勇　氏
e）ニュースレターの発行　2回（No.21，No.22）
f）関連資料・文献の収集
　＊　文献リスト作成推進

g）国際交流活動の推進

＊　熱帯・亜熱帯地域における資源利用の実態に関する調査

h）研究部会活動の推進

＊　研究協力の推進

＊　入会勧誘活動

＊　記念事業の実施計画の検討

3．平成２年度会計報告（平成２年６月１日～平成３年５月31日）

（収　入）

項　　目	平成２年度予算	決　　算	差　　引
繰越金	1,382,528	1,382,528	0
会費　一般会員	252,000	262,000	10,000
特別会員	1,100,000	1,250,000	150,000
未収会費　一般会員	70,000	38,000	△ 32,000
特別会員	100,000	100,000	0
利　息	2,000	15,872	13,872
雑収入	70,000	48,400	△ 21,600
収　入　総　計	2,976,528	3,096,800	120,272

（支　出）

項　　目	平成２年度予算	決　　算	差　　引
1. 事務費			
消耗品	50,000	3,913	46,087
通信費	40,000	43,552	△ 3,552
旅　費	75,000	0	75,000
備品費	10,000	0	10,000
手当　アルバイト	50,000	57,000*1	△ 7,000
事務補助	100,000	115,272*1	△ 15,272
振替手数料	5,000	3,580	1,420
交通費	20,000	9,000	11,000
事　務　費　小　計	350,000	232,317	
2. 事業費			
総会費	80,000	44,048	35,952
会議費	20,000	7,465	12,535
活動費	300,000	80,000*2	220,000
出版物印刷費	1,500,000	798,465*3	701,535
ニュースレター等印刷費	150,000	230,000	△ 80,000
出版物発送費	100,000	72,911	27,089
予備費	476,528	0	476,528
事　業　費　小　計	2,626,528	1,232,889	
支　出　総　計	2,976,528	1,465,206	

次年度繰越　1,631,594

*1　単価引上げによる差額，　*2　講演謝礼４件，

*3　第６巻１号及び別刷り代，従って差引分は第７巻分として繰越．

4．平成３年度事業計画

a）第11回総会の開催（Ｈ３．７．13：琉球大学農学部）

b）第８回研究発表会の開催（Ｈ３．秋）

c）創立10周年記念事業（シンポジウム等予定）

d）研究会誌第８巻第１号の発行

e）特別講演会の開催（４テーマ）

＊　沖縄の産業振興

—（株）トロピカルテクノセンターとの関わり—

（株）トロピカルテクノセンター研究開発部長　照屋 輝一　氏

＊　専門家（技術者）のためのマングローブとマングローブのための専門家（技術者）

（MANGROVES FOR ENGINEERS AND ENGINEERS FOR MANGROVES）

国際マングローブ生態系協会副会長　マルタ・ヴァンヌッチ　氏

f）ニュースレターの発行　２回（No.23, No.24 ）

g）関連資料・文献の収集

＊　文献リスト作成推進

h）国際交流活動の推進

＊　熱帯・亜熱帯地域における資源利用の実態に関する調査

i）研究部会活動の推進

＊　研究協力の推進

＊　入会勧誘活動

5．平成３年度予算（平成３年６月１日～平成４年５月31日）

（収　入）

項　　目	平成３年度予算	平成２年度予算	増　減
繰越金	1,631,594	1,382,528	249,066
会費　一般会員	278,000	252,000	26,000
特別会員	1,350,000	1,100,000	250,000
未収会費　一般会員	110,000	70,000	40,000
特別会員	200,000	100,000	100,000
利　息	15,000	2,000	13,000
雑収入	50,000	70,000	△　20,000
収　入　総　計	3,634,594	2,976,528	658,066

（支　出）

項　　目	平成３年度予算	平成２年度予算	増　減
1. 事務費			
消耗品	50,000	50,000	0
通信費	40,000	40,000	0
旅費	75,000	75,000	0
備品費	10,000	10,000	0
手当　アルバイト	60,000	50,000	10,000
事務補助	100,000	100,000	0
振替手数料	5,000	5,000	0
交通費	20,000	20,000	0
事務費小計	360,000	350,000	10,000
2. 事業費			
総会費	80,000	80,000	0
会議費	20,000	20,000	0
活動費	300,000	300,000	0
出版物印刷費	1,500,000	1,500,000	0
ニュースレター等印刷費	150,000	150,000	0
出版物発送費	100,000	100,000	0
予備費	1,124,594	476,528	648,066
事業費小計	3,274,594	2,626,528	648,066
総　　計	3,634,594	2,976,528	658,066

記念シンポジウム報告

本会創立10周年を記念して，沖縄化学装置懇話会（１周年），（財）沖縄県産業振興公社（20周年）の共催で記念シンポジウム「沖縄のバイオ資源の利活用を探る」が平成３年11月30日（土）午後１時から５時の日程で沖縄コンベンションセンターで開催された．参加者は約200名であった．

基調報告：バイオ資源利活用による産業振興
　　農林水産省食品総合研究所　利用部長　斎尾恭子　氏
食品由来成分の高度利用
　　太陽化学（株）　常務取締役　金 武祚　氏
好熱性微生物の耐熱性酵素：その遺伝子工学と利用
　　京都大学化学研究所　教授　左右田健次　氏

沖縄におけるバイオインダストリーの現状

① 組織培養による農産種苗の生産

北中城村農業開発（株）　取締役　濱井義則　氏

② 紅麹菌による豆腐ようの事業開発

琉球セメント（株）　事業開発部主任　瀬底正康　氏

バイオ資源の産業化

（株）トロピカルテクノセンター　研究開発部長　照屋輝一　氏

総合討論　コーディネイター　琉球大学農学部教授　國府田佳弘　氏

研究発表会および特別講演会報告

第8回研究発表会は記念シンポジウムと同じ日（11月30日）の午前10時から12時まで開催され，次の9課題の講演があった．特別講演会は第11回総会時に琉球大学農学部で開催された．

1．研究発表会

① カンショの組織培養によるウイルスフリー苗の育成

沖縄農業試験場　照屋寛由

② 月桃の栽培密度が収量に及ぼす影響

琉球大学農学部　○米盛重保・村山盛一

③ ゲットウ成分の農薬的利用法の検討

琉球産経㈱　○末吉元治・宮里 正・山内政栄

琉球大学農学部　多和田真吉・小波本直忠

④ ゲットウ成分を用いた1,3,2－オキサザホスフォリジン類の合成と生物活性

琉球大学農学部　多和田真吉・○平良栄彦・小波本直忠

琉球産経㈱　宮里 正・川満恵清

⑤ 甘蔗表皮付着油脂成分とフィルターケーキ・廃糖蜜含有油脂成分について

第一製糖㈱製糖事業部　儀部茂八

⑥ オキナワモズク（*Cladosiphon okamuranus* TOKIDA）からアルギン酸の抽出・分離

琉球大学農学部　○田幸正邦・伊志嶺美紀・秋吉由子

⑦ 木炭アク汁を用いた沖縄そばについて

沖縄県工業試験場食品室　○田村博三・赤嶺欣哉・照屋比呂子

⑧ 各種酵母の活用ともろみ工程の効率化による泡盛の香味の高級化

ヘリオス酒造㈱　照喜名重智

⑨ 琉球ＲＫＣによるヘドロの固化処理

琉球セメント㈱　○又吉 修・仲松照隆・黒島安之・大城清昭

比嘉国男・山城保成

2．特別講演会

① 沖縄の産業振興ー（株）トロピカルテクノセンターとの関わりー

（株）トロピカルテクノセンター研究開発部長　照屋輝一　氏

② 専門家（技術者）のためのマングローブとマングローブのための専門家（技術者）

（MANGROVES FOR ENGINEERS AND ENGINEERS FOR MANGROVES）

国際マングローブ生態系協会副会長　マルタ・ヴァンヌッチ　氏